

2016 年度トキワ松学園中学校適性検査型入試 出題の基本方針

1、出題の基本方針

- (1) 小学校で学習した内容を基にして、思考・判断・表現する力をみる。
- (2) 身近な生活の中に見出した課題に対して、背景や条件などを整理し、自分の知識や経験を生かして分析し、推理力をはたらかせたり論理的に考えたりして解明していく力をみる。
- (3) 課題の解明に向けての自分なりの考えや意見を、根拠などを明確に論理的に表現し、他者に伝える力をみる。

2、適性検査問題における問題の構成および主なねらい

(1) 適性検査Ⅰ（45分）

- ・ 資料を読み、考えたことを 500～600 字の作文にまとめる。
- ・ 日本と他国の違いについて、自分の意見を的確に文章にまとめる力や、論理的に表現する力をみる。

(2) 適性検査Ⅱ（45分）

- ・ 大問を 1 問とし、小問を 5 問で構成する。
- ・ 問題に提示された場面設定や情報をもとに、資料を読み取る力や、読み取った内容を表現する力をみる。
- ・ 問題に提示された情報から規則性をみつけ、類推する力、発見する力をみる。
- ・ 正しい実験方法を考える活動を通し、条件を整理する力、筋道を立てて説明する力をみる。
- ・ 組み合わせを考える活動を通して、思考する力や思考の過程を表現する力をみる。

- ・ 2014 年度の適性検査型入試は「作文」と「適性検査」として実施しましたが、2015 年度より「適性検査Ⅰ」「適性検査Ⅱ」として実施しています。
- ・ 出題の形式は 2015 年度と同様です。
- ・ 適性検査Ⅰ・Ⅱの解答用紙の大きさは A 3 です。問題用紙の大きさは A 4 です。